

2.3 百舌鳥古墳群周辺のまちづくりについて

【新規】
【提案・要望先】 国土交通省

～提案・要望事項～

- 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を見据え、百舌鳥古墳群周辺における歴史文化を活かしたまちづくりに必要な財源を継続的に確保すること。

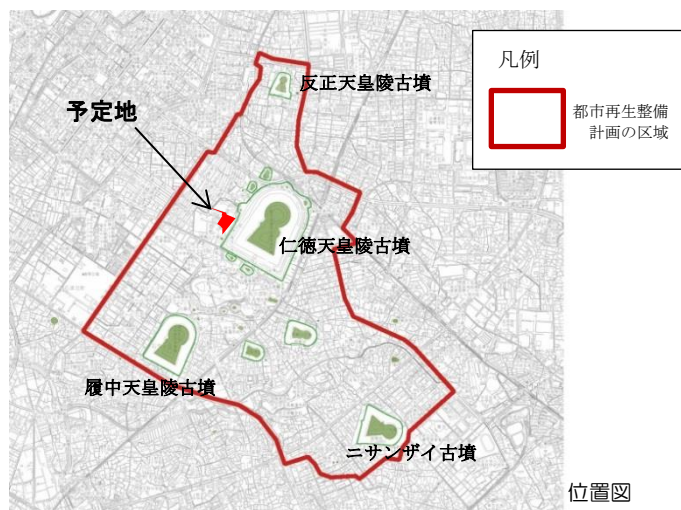
【現状と課題】

- 平成31年（2019年）の百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向け、平成29年（2017年）に国内推薦を獲得。
- 平成28年度～平成29年度、社会資本整備総合交付金を活用し、履中天皇陵古墳（日本で3番目の大きさ）の北側に、巨大な墳丘を間近にのぞむ視点場（ビュースポット）を整備。
- 今後、増加が予想される来訪者の受入体制を強化するため、百舌鳥古墳群周辺の歴史文化を活かしたまちづくりの核となる（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設や周遊サイン等の整備を進め、古墳群の価値を理解していただける環境整備を進める必要がある。

◆今後の主な事業（（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設等の整備）



外観



位置図

◆補助対象事業費、国庫補助額（社会資本整備総合交付金・都市再生整備計画事業）

	平成31年度（見込額）
補助対象事業費	412.2百万円
国庫補助額	185.5百万円

事業進捗に応じた国庫補助金を確保することにより、（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設や周遊サイン等の整備を2020年度末までに進める。

百舌鳥古墳群を快適に周遊できる環境を整備し、その価値や魅力を理解・体感できる拠点を整備することで、百舌鳥古墳群周辺のまちづくりが進む。

【本件に関する連絡先】

文化観光局 世界文化遺産推進室次長 増田 一（TEL:072-228-7014）